

2013 年度 研究所・センター事業報告書

研究所・センター名	歴史都市防災研究所
研究所・センター長名	所長・大窪 健之

I. 研究成果の概要（公開項目）

本欄には、研究所・センターの実施した研究の成果について、その具体的内容、意義、重要性等を、研究所総合計画(5 ヵ年)および 2013 年度重点プロジェクト申請調書に記載した内容に照らし、項目立てなどをおこなうことができるだけわかりやすく記述してください。なお、2013 年度に採択を受けた研究所重点プロジェクトの実績報告は、別紙「研究所重点プロジェクト実績報告書様式」(非公開)に記述のうえ提出してください。

文化遺産を有する歴史都市を災害から保全するとともに、それを後世に継承するための学理と技術の双方の体系を構築し、センター・オブ・エクセレンスとして調査研究ならびに開発の拠点となり、国内外において安全で快適な社会の発展に貢献する方策を国の内外に提供することを目的に活動を行なった。以下、具体的な成果について、活動項目毎に要約する。

①文化遺産防災技術研究部会 文化遺産を災害から防御する技術開発に取り組んだ。具体的には、(1)飛騨高山市の依頼で重伝建地区の耐震・防火改修マニュアルを作成。(2)火災発生情報の地域共有システムを試作(特許出願)し、篠山と美山北地区で社会実験を実施。(3)日常利用可能な市民消火栓を開発(特許出願)し、住民評価を実施。(4)タイ王国アユタヤ遺跡の洪水解析と対策条件を検討。そして、(5)世界遺産・熊野那智大社、熊野古道での台風 12 号被災の実態解明を行なった。

②歴史災害研究部会 歴史災害を分析するとともに過去の減災の知恵を現代に活かすことを目的に研究を推進した。具体的には、(1)国内の減災の知恵の事例整理を継続。京都日出新聞にもとづく近代の災害データベースの完成。「京都歴史災害研究」第 6 号の京都災害年表の電子データ公表準備。(2)京都等の歴史災害の復原研究の実施。(3)災害リスクに関わる地理空間情報基盤の整備、東日本大震災に関する地理空間情報の収集、GIS データの視覚化および解析手法の研究を行なった。

③歴史都市防災計画研究部会 歴史と文化を守る防災まちづくり計画に必要な研究を推進した。具体的には、(1)町並み保全のための建築基準法緩和に伴う災害リスク増大させない代替措置の検討、(2)これまで策定してきた耐震改修マニュアル、防災水利の整備指針、斜面災害予防、および観光防災マップの提案などの実施プランの検討、(3)歴史地域の道路ネットワークの脆弱性評価と対策検討、さらに京都市東山区の主要観光スポットからの避難経路の交通容量に関する検討を行なった。

④文化遺産における人災・獣害研究部会 敷地や建造物など条件が異なる文化遺産への対策可能性を検証し、文化遺産関係者に対応戦略を提案するべく、(1)全国 10 寺院を対象にヒアリング調査を実施し、文化遺産への被害の特徴を把握。(2)京都府の被害や南丹市の調査データの GIS 化からアライグマ出没の特徴を把握。(京都府「アライグマ痕跡・時空間分布マップ」)さらに(3)「人物行動解析の研究」と「人物検出モジュール実装法の研究」の研究開発を進め、分類率 60.2%を達成した。

⑤歴史都市・文化遺産の継承と保全のための政策研究部会 文化遺産防災学からのヘリテージ・ツーリズムの確立に資するために、(1)外国人観光客を守るため、東日本大震災での情報不足の原因を分析し、効果的な避難誘導方策を提案。具体的に姫路城を対象に避難誘導方策の評価を実施。(2)洪水で被災した世界遺産アユタヤの経済政策を検討するため、ゲーミング・シミュレーションのフレームワークを開発し、タマサート大学、チュラロンコーン大学(タイ)と若手学生・研究者との交流を行なった。

⑥国際展開・社会連携 研究支援プログラム (1)第 8 回となる UNESCO Chair 国際研修では、111 名の応募者より研修者 10 名を選出し、「歴史都市の災害リスクの緩和」をテーマに実施した。フォローアップ事業として、グジャラート国立災害研究所(インド)で短期研修コースを共催。他にも、第 11 回立命館大学・タマサート大学共同ワークショップ等を開催した。またフィールドでの人材育成と社会還元を目的に、市民組織「明日の京都～文化遺産プラットフォーム」との連携を推進。文化遺産の災害脆弱性評価に必要な基礎データとなる GIS アーカイブの構築を目指し、戦前から戦後の建築写真を含めて公開準備中である。

⑦研究所のその他主催事業 さらに、年次事業「第 7 回・歴史都市防災シンポジウム」(7/13)を開催し、36 件の研究発表と活発な討議が行われ、全国から約 150 人の参加があった。公開セミナーとして、第 1 回「いま、あなたの文化財が狙われている」、第 2 回「進化する犯罪と防御システムの最前線」、第 3 回「京都歴史災害研究会」を開催。定例研究会も、年度内に 7 回開催し、各研究部会の若手研究者から成果報告がなされ活発な研究交流を行なった。他にも学術論文集「歴史都市防災論文集 Vol.7」や「京都歴史災害研究 第 15 号」を刊行。地域社会へ向けた情報発信については、公開展示企画で 6 研究部会の成果展示および HP を更新。「第 7 回地域の安全安心マップコンテスト」では 62 作品 94 名の応募があり、幅広い地域からの作品が寄せられた。

II. 研究業績（公開項目）

本欄には、拠点に関わる研究業績を全て記載してください。（2014年3月31日時点）

1. 著書							
No.	氏名	著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行年月	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	その他編者・著者名	担当頁数
1	大窪健之	『歴史に学ぶ減災の知恵—建築・町並みはこうして生き延びてきた』	単著	2013年6月	学芸出版社（京都市）		
2	谷口仁士	文化財受難の時代～盗難・放火や獣害から守るために～	共著	2014年3月	立命館大学歴史都市防災研究所	山内寛紀、泉知論、福水洋平、金玖淑、東久保政勝	
3	Nakaya, T.	Evaluations and improvements in small area estimation methodologies	共編著	2013年	National Centre for Research Methods Methodological Review paper, ESRC, UK.	Whitworth, A, Aitken, G, Anderson, B, Ballas, D, Dibben, C, Heppenstall, A, Kavrouidakis, D, McLennan, D, Malleson, N, Moon, G, Tanton, R, Taylor, J, Tzavidis, N, Williamson, P.	
4	Rohit JIGYASU	Proceedings of UNESCO Chair Programme on Cultural Heritage and Risk Management, INTERNATIONAL TRAINING COURSE ON DISASTER RISK MANAGEMENT OF CULTURAL HERITAGE, 2013, 8th year	共著	2014年3月	Institute of Disaster Mitigation for Urban Cultural Heritage, Ritsumeikan University (RitsDMUCH)	Noko Ushitani ITAYA, Participants of UNESCO Chair Programme, International Training Course (ITC) on Disaster Risk Management of Cultural Heritage, Ritsumeikan University	p87
5	鐘ヶ江秀彦	「16章 環境持続性と地域活性化 16.4 炭素埋設農法を通じた持続可能な地域開発「亀岡モデル」」大貝彰・宮田謙・青木伸一（編著）『都市・地域・環境概論—持続可能な社会の創造に向けて』	分担執筆	2013年4月	朝倉書店		
6	鐘ヶ江秀彦	「第3部 サステイナビリティの構築（気候変動への対応）災害と都市」周璋生（編著）『サステイナビリティ学入門』	分担執筆	2013年4月	法律文化社		
7	鈴木祥之	都市建築の発展と制御シリーズ「市民と専門家が協働する成熟社会の建築・まちづくり」	共著	2014年1月	社団法人日本建築学会発売所：丸善株式会社	鈴木祥之（編集、分担執筆）	177-188
8	鈴木祥之	嶋臺塾記録（第九冊）	共著	2014年3月	京都大学大学院地球環境学堂三才学林	鈴木祥之（分担執筆）	63-88
9	矢野桂司	バーチャル京都で歴史都市京都の景観を継承する	分担執筆	2013年7月	彬子女王編『文化財の現在 過去・未来』宮帯出版社		293-311
10	矢野桂司	GIS for disaster management of historical city, Kyoto	単著	2013年	In Rohit Jigyasu and Vanicka Arora: 'Disaster Risk Management of Cultural Heritage in Urban Areas: A Training Guide', Research Center for Disaster Mitigation of Urban Cultural Heritage		83-84
11	吉越昭久	日本災害資料集 気象災害編第1巻	単著	2013年10月	クレス出版		1-284
12	吉越昭久	日本災害資料集 気象災害編第2巻	単著	2013年10月	クレス出版		1-375
13	吉越昭久	日本災害資料集 気象災害編第3巻	単著	2013年10月	クレス出版		1-514
14	吉越昭久	日本災害資料集 気象災害編第4巻	単著	2013年10月	クレス出版		1-330,1-189
15	吉越昭久	日本災害資料集 気象災害編第5巻	単著	2013年10月	クレス出版		1-357
16	青柳憲昌	『建築史家・大岡實の建築—鉄筋コンクリート造による伝統表現の試み』	共著	2013年7月	川崎市立日本民家園発行	安田徹也	

17	青柳憲昌	『古経楼・富士見亭の建築と意匠―五島美術館古経楼・富士見亭修理工事報告書―』	共著	2014年3月	世田谷区教育委員会	株式会社建文・建築文化研究所	
18	青柳憲昌	「高山市伝統構法木造建築物（町家）の歴史的価値」（『高山市伝統構法木造建築物耐震化マニュアル』所収）	共著	2014年3月	高山市教育委員会	高山市伝統構法木造建築物耐震化マニュアル作成検討委員会・飛弾高山伝統構法木造建築物研究会	pp.3-8
19	片平博文	『高校生の地理A』	共著	2013年3月	帝国書院		44-47、78-83、118-123
20	高橋学	環境史からみた東北地方・太平洋沖地震の津波被害		2014年3月			約30頁
21	金玖淑	釜山市民公園歴史叢書Ⅲ 日本防衛省所蔵 日本軍用地設計資料集	共著	2013年11月	韓国：釜山広域市	金ギス、金ヨンブン、南ユンスン、金ジフン、鄭ジウォン（翻訳）、ナチュンソン、黄スファン、徐マンイル、張ヘビン（デジタル図面製作及び青焼き復元）	全386頁
22	Hanibuchi, T.	Contextual determinants of community social capital	分担執筆	2013年	Kawachi et al. eds, Global Perspectives on Social Capital and Health, Springer Science+Business Media New York, DOI 10.1007/978-1-4614-7464-7_5. (in press)	Nakaya, T.	123-142
23	埴淵知哉	地域コミュニティのソーシャル・キャピタルを規定する文脈的要因	共著	2013年	カワチ, I.・高尾総司・スプラマニアン, S.V.編「ソーシャル・キャピタルと健康政策」日本評論社	中谷友樹	151-172

2. 論文								
No.	氏名	著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行年月	発行所、発表雑誌、巻・号数	その他編者・著者名	担当頁数	査読有無
1	大窪健之	火災発生情報を即時共有できる地域防災情報システムの開発～ハードウェア開発と実証訓練を通じた防災活動指針の検証～	共著	2013年7月	歴史都市防災論文集 vol.7	森 主成, 福山大典, 深田亮介, 川合 誠	pp.169-176	有
2	大窪健之	伝統的建造物群保存地区における防災活動指針に対する持続的な評価・改善手法に関する研究～与謝野町加悦地区を対象として～	共著	2013年7月	歴史都市防災論文集 vol.7	和佐田陵亮, 林倫子, 金 度源	pp.177-184	有
3	大窪健之	世界遺産カトマンズ・パタン地区における地区防災計画を実践するための活動指針の提案―防災ワークショップによる住民評価を通して―	共著	2013年7月	歴史都市防災論文集 vol.7	長嶋治樹, 林 倫子, 幸野 郁, 古川真史	pp.201-208	有
4	谷口仁士	ネパール・カトマンズにおける歴史的祖積造建築物群の構造分類と地震リスク評価	共著	2013年7月	歴史都市防災論文集、Vol.7	古川愛子、清野純史、鈴木祥之、土岐憲三、辰巳雅俊、H.R.Parajuli	p.145-152	有
5	Nakaya, T.	Analytical Data Transformations in Space-Time Region: Three Stories of Space-Time Cube	単著	2013年	Annals of the Association of American Geographers (103巻)		1100-1106	有
6	板谷(牛谷)直子	京都の町家および民家と庭の特徴および防災対策	共著	2013年7月	歴史都市防災論文集 Vol.7	山崎正史・飯塚隆藤・今江秀史	pp185-192	有
7	Naoko Ushitani	Integrating Cultural Heritage in Post	単著	2014年3月	Proceedings of UNESCO Chair Programme on Cultural Heritage		pp18-21	無

	ITAYA	Disaster Recovery, the Case of Minami Sanriku-Cho, Great East Japan Disaster Affected Area			and Risk Management, INTERNATIONAL TRAINING COURSE ON DISASTER RISK MANAGEMENT OF CULTURAL HERITAGE, 2013, 8th year			
8	小川圭一	避難時の交通容量を考慮した歴史都市における観光客の避難経路に関する検討	共著	2013年7月	歴史都市防災論文集 Vol.7	南和憲, 前川貴哉, 塚口博司, 安隆浩	pp.7-14	有
9	Kanegae Hidehiko	Effectiveness of Disaster-Based School Program on Students' Earthquake-Preparedness	共著	2013年10月	Journal of Disaster Research, Vol.8, No.5, 2013	Wignyo Adiyoso	pp. 1009-101	
10	Kanegae Hidehiko	Efektifitas Dampak Penerapan Pendidikan Kebencanaan di Sekolah terhadap Kesiapsiagaan Siswa Menghadapi Bencana Tsunami di Aceh, Indonesia	共著	2013年12月	Penanggung Jawab, BAPPENAS, "Perencanaan Pembangunan" EDISI03	Wignyo Adiyoso	pp. 57-66	
11	河角龍典	「始良 Tn (AT) 火山灰分析」	共著	2014年1月	公益財団法人京都市埋蔵文化財研究所編『「京都市埋蔵文化財研究所発掘調査報告 2013-09」『六波羅蜜寺境内・六波羅政庁』	小野映介	54-55	無
12	鈴木祥之	伝統的構法における垂壁腰壁を含む鉛直構面の水平耐力の評価 乾式土壁パネルを用いた場合	共著	2013年6月	日本建築学会技術報告集、42巻、2013年6月	中尾方人、後藤正美	pp.525-530	有
13	鈴木祥之	伝統構法木造の告示波に対する最大変位応答	共著	2013年7月	歴史都市防災論文集 Vol. 7	山田耕司, 向坊恭介, 須田達	pp.89-96	有
14	鈴木祥之	伝統的構法における垂壁腰壁を含む鉛直構面の水平耐力の評価 乾式土壁パネルを用いた場合	共著	2013年6月	日本建築学会技術報告集、42巻、2013年6月	中尾方人、後藤正美	pp.525-530	有
15	鈴木祥之	伝統構法木造の告示波に対する最大変位応答	共著	2013年7月	歴史都市防災論文集 Vol. 7	山田耕司, 向坊恭介, 須田達	pp.89-96	有
16	土岐憲三	山麓斜面上に位置する木造建造物の周辺地盤との相互作用を考慮した地震応答特性	共著	2013年5月	自然災害科学(32巻1号)	伊津野和行・深川良一	103-115	
17	Kenzo Toki	Earthquake Effects of Layered Medium with Irregular Interface on Buried Pipeline	共著	2014年	Proceedings of the 9th International Conference On Structural Dynamics	Junji Kiyono, Fusanori Miura, Aiko Furukawa		
18	豊田祐輔	既存の防災コミュニティ支援ツールによる地域の文化遺産防災への効果	共著	2013年7月	歴史都市防災論文集 Vol. 7	鐘ヶ江秀彦	193-200	有
19	深川良一	変位法を応用した斜面上の段差フーチング剛体基礎の設置圧分布・変位計算法	共著	2013年9月	土木学会論文集C(地圏工学)、Vol.69, No.3	上田謙三	350-366	
20	Ryoichi Fukagawa	Evaluation of bedrock groundwater movement using tracer methods in a weathered granite hillslope	共著	2013年9月	International symposium on sediment disasters under the influence of climate change and tectonic activity(3rd)	Masamitsu Fujimoto, Naoki Banba, Kenichirou Kosugi, Makoto Tani		
21	R. Fukagawa	Numerical prediction of the post failure behaviour of box		2013年12月	Journal of GEOMATE, Vol.5, No.1	C. T. Nguyen, H. H. Bui, and	647-652	有

		shape retaining wall system						
22	矢野桂司	2010年国勢調査小地域統計のオープン・アトラスの作成・公開	共著	2013年11月	地理情報システム学会講演論文集(22巻)	佐谷岳穂・中谷友樹・Alex Singleton・Christopher Brunsdon	1-4(CD-ROM)	
23	矢野桂司	地理情報システムを用いた地理学と歴史学の連携—歴史 GIS の試み	共著	2013年5月	アリーナ 2013(15号)	瀬戸寿一	13-19	
24	Yano, K.	Japanese surname regions		2013年	Papers in Regional Science	Cheshire, J.A., Longley, P.A., Nakaya, T.		
25	Keiji Yano	Open Social Atlas of the 2010 Population Census of Japan', Proceedings of KAGIS Fall Conference 2013	共著	2013年10月	The Proceedings of 15th KOREA & JAPAN International Symposium on GIS	Takeho Satani, Tomoki Nakaya, Alex Singleton and Christopher Brunsdon	270-273	無
26	矢野桂司	2010年国勢調査小地域統計のオープン・アトラスの作成・公開	共著	2013年10月	『地理情報システム学会講演論文集』地理情報システム学会, 第19巻(CD-ROM)	佐谷岳穂・中谷友樹・Alex Singleton・Christopher Brunsdon	4	無
27	吉越昭久	第7回夏休みにみんなで作る地域の安全安心マップコンテスト	共著	2014年3月	京都歴史災害研究 15	赤石直美	33-36	有
28	青柳憲昌	「大岡實の『復元』建築」	単著	2013年10月	『日本建築学会計画系論文集』第692号		pp.2073-2080	有
29	片平博文	「平安京北郊における有栖川の流れ」	単著	2013年	立命館文学 630		30-40	
30	片平博文	「白河法皇の怒りと歎き—歴史地理学から「天下三不如意」の深層に迫る—」	単著	2013年	立命館地理学 25		47-65	
31	里深好文	土地利用の高機能化による史跡保全に配慮した土砂災害対策	共著	2013年7月	歴史都市防災論文集 Vol. 7	原田紹臣	31-38	有
32	武田史朗	京都市「ちびっこひろば」の活用法の評価に対して防災的活用がおよぼす効果に関する研究	共著	2013年7月	歴史都市防災論文集 Vol. 7	五味慶一郎		有
33	塚口博司	大規模交通ターミナル地区における歩行者の3次元経路選択行動分析	共著	2013年5月	土木学会論文集 D3 Vol.69 No.2	柴田裕基、平田秀樹、安隆浩	pp.135-145	
34	Tsukaguchi, H.	Analysis of Changes in Pedestrian Route Choice Priorities with Progress of Stage of Life	共著	2013年9月	Journal of the Eastern Asia Society for Transportation Studies, Vol.10	Vandebona, U. and Tajima, Y.	pp.1396-1412	
35	Tsukaguchi, H.	Relationship among Lifestyle Attributes and Attitudes toward Pedestrian Facilities	共著	2013年9月	Journal of the Eastern Asia Society for Transportation Studies, Vol.10	Tajima, Y., Vandebona, U. and Hsia, H.C.	pp.1458-1474	
36	Tsukaguchi, H.	The Study of the Relationships among Psychological Factors, Acceptable Walking Distance, and Actual Walking Distance	共著	2013年9月	Journal of the Eastern Asia Society for Transportation Studies, Vol.10	Hsia H.C., Yeh, K.Y. and Vandebona, U.	pp.1475-1488	

37	Tsukaguchi, H.	Impact of urbanization on user expectations related to public transport accessibility	共著	2013年	International Journal of Urban Sciences, Vol.17, No.2	Vandebona, U.	pp.199-211	
38	塚口博司	歴史都市における減殺計画のための道路ネットワークの脆弱性把握方法に関する研究	共著	2013年7月	歴史都市防災論文集 Vol.7	安隆浩、久下沙緒里、小川圭一	pp.215-222	有
39	林倫子	1896年9月の大水害における琵琶湖周辺の社寺の避難所利用に関する研究	共著	2013年7月	歴史都市防災論文集 Vol.7	江藤匠平、大窪健之	81-88	有
40	吉富信太	伝統木造建築物の全体架構モデルに関する研究	共著	2013年7月	歴史都市防災論文集 Vol.7	尾崎訓応、向坊恭介	pp.105-108	有
41	Minsuk Kim	Web-based Map and Digital Archiving for Korean Historic Building Photo Images taken by Dr. Yutaka Kondo during the 1930s and 1940s	共著	2013年10月	Proceedings of KAGIS Fall Conference 2013 The 15th KOREA & JAPAN International Symposium on GIS	Haruto Murakami, Toshikazu Seto, Keiji Yano, Yukihiko Fukushima and Makoto Dobashi	270-273	無
42	金玟淑	An Initial Study on the Korean Historic Building Photo Images taken by Dr.Yutaka Kondo in Japanese Colonial Era	共著	2013年11月	『韓国建築歴史学会 2013年秋季学術発表大会資料集』、韓国建築歴史学会	村上晴澄・瀬戸寿一・矢野桂司・福島幸宏・土橋誠	103-108	無
43	金玟淑	文化財の防災取り組みに関する調査研究—文化財の防御システムの実態について—	共著	2013年5月	地域安全学会、地域安全学会梗概集 No.32	崔青林、朴ジョンヨン、谷口仁士	51-54	
44	金玟淑	安東河回村の火災安全性に関する調査研究	単著	2013年5月	韓国建築歴史学会、韓国建築歴史学会 2013年春季学術発表大会資料集（韓文）		147-154	
45	金玟淑	金山寺本堂の火災について	共著	2013年7月	立命館大学歴史都市防災研究所、歴史都市防災論文集 Vol.7	谷口仁士	243-248	有
46	金玟淑	韓国の文化財保存史研究における『清交』の評価	単著	2013年8月	日本建築学会、学術講演梗概集 F-2		633-634	
47	Minsuk KIM	Web-based Map and Digital Archiving for Korean Historic Building Photo Images taken by Dr. Yutaka Kondo during the 1930s and 1940s	共著	2013年10月	The Korean Association of Geographic Information Studies, <i>Proceedings of KAGIS Fall Conference 2013 and the 15th KOREA & JAPAN International Symposium on GIS</i>	Haruto MURAKAMI, Toshikazu SETO, Keiji YANO, Yukihiko FUKUSHIMA, Makoto DOBASHI	232-235	
48	金玟淑	文化財の人災（放火・盗難）に関する現地調査報告	共著	2014年3月	京都歴史災害研究、第15号	谷口仁士	pp.21-26	
49	金玟淑	日帝強占期における近藤豊撮影韓国写真資料に関する基礎研究	共著	2013年11月	韓国建築歴史学会、韓国建築歴史学会 2013年秋季学術発表大会資料集（韓文）	村上晴澄、瀬戸寿一、矢野桂司、福島幸宏、土橋誠	103-108	
50	崔青林	文化財の防災取り組みに関する調査研究—人災・獣害の実態について—	共著	2013年5月	地域安全学会、地域安全学会梗概集 No.32	朴ジョンヨン、金玟淑、谷口仁士	47-50	
51	崔青林	地震時における避難行動の意思決定プロセスに関する研究—京都清水寺周辺地域をケーススタディ	共著	2013年7月	歴史都市防災論文集(7巻)	豊田祐輔・谷口仁士・鐘ヶ江秀彦・伊津野和行	23-30	有

		として-						
52	Lata SHAKYA	Community involvement in management of communal space in Patan Historic City: A case study of Ilānani tole in Patan durbar square monument zone.	共著	2013年11月	International Symposium "Revisiting Kathmandu-Safeguarding Living Urban Heritage"	Mitsuo TAKADA, Sachiko MORISHIGE and Takeyuki OKUBO		有
53	石田優子	平成23年台風12号による熊野那智大社裏山における大規模斜面崩壊の解析条件設定に関する研究	共著	2013年7月	歴史都市防災論文集 Vol. 7	藤本将光、梅本啓介、小杉賢一朗、里深好文、深川良一	45-50	有
54	石田優子	地盤強度特性の空間分布を考慮した急傾斜地崩壊発生場の予測	共著	2013年7月	歴史都市防災論文集 Vol. 7	藤本将光、深川良一他2名	51-58	有
55	Ishida Y,	Effect of weathered bedrock permeability on a large landslide triggered by Typhoon Talas in southern part of central Japan	共著	2013年9月	Proc. of 13 th Conf. on Sci. and Tech. - Int. Ses. 2013 HCMUT Vietnam- Fac. of Civil Eng.	Fujimoto M, Kosugi K, Satofuka Y, and Fukagawa	221-227	
56	Ishida Y	Topographical and geological characteristics of collapsed slopes caused by 2011 Typhoon Talas in Japan	共著	2013年9月	Proc. of 13 th Conf. on Sci. and Tech. - Int. Ses. 2013 HCMUT Vietnam- Fac. of Civil Eng.	Fujimoto M, and Fukagawa R	207-213	
57	石田優子	平成23年台風12号による熊野那智大社裏山の大规模斜面崩壊において風化基岩層が与える影響	共著	2013年11月	Kansai Geo-Symposium 2013 論文集	藤本将光・小杉賢一朗・里深好文・深川良一	97-102	
58	大岡優	清水寺周辺地域における災害時避難の所要時間に関する考察	共著	2013年7月	歴史都市防災論文集(7巻)	川崎佑磨・伊津野和行・小林祐一郎・久能木慎治	1-6	有
59	朴ジョンヨン	文化財の防災取り組みに関する調査研究-所有者による文化財の価値評価について-	共著	2013年5月	地域安全学会、地域安全学会梗概集 No.32	崔青林、金玖淑、谷口仁士	55-58	
60	朴ジョンヨン	文化財所有者を対象とした人災・獣害の現状と防御システムに関する調査研究	共著	2013年7月	立命館大学歴史都市防災研究所、歴史都市防災論文集 Vol.7	崔青林、金玖淑、谷口仁士	161-168	有
61	朴ジョンヨン	過去の地震・津波の経験にもとづいた被災地経済復興計画立案の分析方法に関する研究	共著	2013年	地域学研究第43巻(掲載決定、印刷中巻)	崔青林・谷口仁士		
62	森下雄治	安政江戸地震における地震火災に関する研究-江戸の都市防火体制に着目して-	共著	2014年3月	地域安全学会論文集 No.22 (電子ジャーナル)	大窪健之		有
63	高松正彦	歴史地区における民有の樹林保全の課題と対策-景観保全と都市防火に着目して-	共著	2013年10月	都市計画論文集 vol.48 No.2	大窪健之	pp.111-119	有
64	谷端 郷	住民参加型安全安心マップ作成のワークショップが環境介入に与える影響-マップに記載された情報に着目して-	共著	2013年	地理科学(68巻2号)	村中 亮夫・米島万有子・湯浅 弘樹・瀬戸 寿一・中谷 友樹	114-131	

65	金度源	歴史的な本願寺水道の送水管再生による市街地防火への有効性評価ー大規模延焼火災を想定した祇園南地区での防災水利計画ー	共著	2013年11月	都市計画学論文集 Vol.48 No.3	大窪健之	pp.789-794	有
66	金度源	明治期の防災設備「本願寺水道」の再生による防災水利計画の提案ー歴史的な水利環境の防災活用を目指してー	共著	2013年12月	土木学会論文集 D3 (土木計画学) Vol.69 No.5	荒川昭治、大窪健之		有
67	檀上徹	タイ・アユタヤの文化遺産防災に向けた現地調査と洪水解析	共著	2013年7月	歴史都市防災論文集 Vol. 7	赤澤史頭、田中七裕、藤本将光、豊田祐輔、谷口仁士、深川良一、里深好文	73-80	有
68	Toru Danjo	Examination of Strain Measurement in the Ground using Soil Tank Test for Practical Realization of NNS	共著	2013年5月	18th Southeast Asian Geotechnical & Inaugural AGSSEA Conference	Kazunari Sako , Naoto Iwasa , Ryoichi Fukagawa	537-542	
69	Toru Danjo	The Full Scale Rainfall Experimental Study of Fusion Technology with Monitoring and Reinforcement Method on Slope	共著	2013年11月	Proc. of the 8th Int. Symp. on Advanced Science and Technology in Experimental Mechanics	Kazunari Sako, Masamitsu Fujimoto, Naoto Iwasa , Naoki Sakai and Ryoichi Fukagawa	Paper No.036	
70	檀上徹	新たな地盤変位計測に向けたネイリングセンサの設置効果の検証	共著	2014年3月	地盤工学ジャーナル	酒匂一成、岩佐直人 , Nghiem Minh Quang, 酒井直樹, 深川良一	15-28	
71	赤澤史頭	熊野那智大社後背山地において発生した土石流に関する研究	共著	2013年7月	歴史都市防災論文集 Vol. 7	藤本将光、里深好文、深川良一	59-66	有
72	速見智	清水寺地域における集中豪雨時の土石流氾濫解析	共著	2013年7月	歴史都市防災論文集 Vol. 7	大塚亮介、里深好文	67-72	有
73	Hanaoka, K.	Network-based spatial interpolation of commuting trajectories: Application of a university commuting management oject in Kyoto, Japan	共著	2013年	Journal of Transport Geography, Vol.34	Nakaya, T., Yano, K. and Inoue, S.	274-281	有
74	N. Hiraoka	Dynamic analysis of slope failure using the mesh-free SPH Method	共著	2013年11月	Proc. of the 3rd Int. Conf. on Geotechnique, Construction Materials and Environment	A. Oya, H. H. Bui, P. Rajeev and R. Fukagawa	274-279	有
75	N. Hiraoka	Dynamic analysis of slope failure using the mesh-free SPH Method	共著	2013年12月	Journal of GEOMATE, Vol.5, No.1	N. Hiraoka, A. Oya, H. H. Bui, P. Rajeev and R. Fukagawa	660-665	有
76	N. Hiraoka	Numerical prediction of the post failure behaviour of box shape retaining wall system	共著	2013年11月	Proc. of the 3rd Int. Conf. on Geotechnique, Construction Materials and Environment	C. T. Nguyen, H. H. Bui, A. Oya and R. Fukagawa	298-303	有
77	N. Hiraoka	Permeability test in single borehole using ultrasonic wave	共著	2013年	Proc. of the 8th Int. Symp. on Advanced Science and Technology in Experimental Mechanics	T. Kurohara, S. Nakano, K. Tanaka, M. Fujimoto, R. Fukagawa, and		

						A. Togari		
78	大矢綾香	水位変動を考慮したサイゴン川河岸崩壊現象のシミュレーション	共著	2013年11月	Kansai Geo-Symposium 2013 論文集	平岡伸隆・Bui Hong Ha・藤本将光・深川良一	11-16	
79	川崎一朗	興福寺の歴史的地理的環境と中金堂再建の現況	共著	2013年	京都歴史災害研究, 第14号	諏訪浩, 中村琢巳, 向坊恭介, 岡田篤正	pp.11-20	有
80	川崎一朗	桂離宮とその周辺の水害リスク	共著	2013年	京都歴史災害研究, 第14号	岡田篤正, 諏訪浩, 吉越昭久, 大窪健之, 向坊恭介, 大邑潤三, 高橋昌明	pp.53-62	有
81	棚橋秀光	伝統的構法の楔をもつ仕口のめり込みメカニズム	共著	2013年7月	歴史都市防災論文集(7巻)	大岡優・伊津野和行・鈴木祥之	97-104	有
82	Aiko Furukawa	Fundamental study on structural damage detection method for plate structures based on the time reversal technique	共著	2014年	Proceedings of the 9th International Conference On Structural Dynamics	Keita Kojima, Junji Kiyono, Kenzo Toki, Fusanori Miura		
83	古川愛子	ネパール・カトマンズにおける歴史的組積造建造物群の構造分類と地震リスク評価	共著	2013年7月	歴史都市防災論文集 Vol. 7	清野純史, 谷口仁士, 鈴木祥之, 土岐憲三, 辰巳雅俊, H.R.Parajuli	pp145-152	有

3. 研究発表等					
No.	氏名	発表題名	発表年月	発表会議名、開催場所	その他発表者名
1	大窪健之	講演「持続可能性と歴史防災まちづくり(建造物保護のための防災と環境保全)」	2013年8月27日	文化財建造物主任技術者講習会, 文化庁, 京都市伝統木造保存技術研修センター	
2	大窪健之	講演「For Protection of Cultural Heritages and Urban Areas from Earthquake Triggered Fire」	2013年9月2日	JICA2013 プログラム「歴史都市の保全・防災と文化観光への活用」, 立命館大学BKC	
3	大窪健之	招待講演: Traditional Wisdom for Disaster Mitigation in History of Japanese Architecture and Historic Cities	2013年9月	The International Academic Symposium for the Safety Management of Cultural Heritage at Risk, 韓国文化財研究所	
4	大窪健之	招待講演「歴史に学ぶ減災の知恵～伝統を活かした防災まちづくりへ向けて～」	2013年9月28日	災害に強いまちづくり講座II・災害から学ぶ, 京都市防災協会, 京都市市民防災センター	
5	大窪健之	招待講演「歴史に学ぶ減災の知恵～伝統を活かした防災まちづくり～」	2013年10月29日	「土地月間」不動産鑑定講演会, 愛知県不動産鑑定士協会, 名古屋銀行協会	
6	大窪健之	招待講演: For the Protection of Cultural Value and Disaster Mitigation - Traditional Wisdom for Disaster Mitigation in the History of Japanese Architecture and Historic Cities	2013年11月	International Conference on Cultural Heritage and Disaster Risk Reduction, SEAMEO SPAFA-Japan Foundatio	
7	Takeyuki OKUBO	Research & Development for the Protection of the Kiyomizu-dera Area from Fires Triggered by Earthquake in Kyoto, 150 years of UK-Japan Collaboration - Science	2014年1月	Technology and Innovation Symposium, Embassy of Japan in the UK	
8	谷口仁士	地震による経済損失規模の推定と復興政策に関する一考察	2013年10月	第50回年次大会シンポジウム	崔青林
9	Nakaya, T.	Census-based areal deprivation index of Japan	2013年5月	セミナーがん患者における社会経済因子による生存率格差: 日英における比較	

9	中谷友樹	Census-based areal deprivation index of Japan	2013年5月	セミナーがん患者における社会経済因子による生存率格差:日英における比較	
10	Nakaya, T.	Development of Built-up areas and Walking Habits of elderly people in Kameoka City, Japan	2013年8月	IGU Kyoto Regional Conference	Nagao, S., Yamada, Y., Yamada, M., Yoshida, T. and Kimura, M.
11	中谷友樹	地域の防災・安全活動における安全安心マップ作成のワークショップの可能性—環境介入に着目して—	2013年 11月30日	第25回立命館地理学会大会	村中亮夫、谷端郷、米島万有子、湯浅弘樹、瀬戸寿一
12	中谷友樹	地理疫学とビッグデータ解析、地理情報科学からみたその可能性と展望	2014年 1月25日	第24回日本疫学会学術総会シンポジウム「ビッグデータ解析に挑む」	
13	板谷(牛谷)直子	京都の町家および民家と庭の特徴および防災対策	2013年7月	歴史都市防災シンポジウム	山崎正史、飯塚隆藤、今江秀史
14	小川圭一	歴史都市における災害時ネットワークの孤立性を考慮した道路整備に関する研究	2013年6月	第47回土木計画学研究発表会	久下紗緒里、安隆浩、塚口博司
15	小川圭一	避難時の交通容量を考慮した歴史都市における観光客の避難経路に関する検討	2013年7月	第7回歴史都市防災シンポジウム	南和憲、前川貴哉、塚口博司、安隆浩
16	小川圭一	歴史都市防災に関する論文の分類とその時系列的変化の分析～歴史都市防災論文集を対象として～	2013年7月	第7回歴史都市防災シンポジウム	高野隼也、塚口博司、安隆浩
17	鐘ヶ江秀彦	コンパクトシティのレジリエンス強化のための移行手順のオントロジー化に向けて	2013年10月	日本地域学会 第50回(2013年)年次大会、徳島大学	熊澤輝一
18	KANEGA E Hidehiko	Community Planning for Disaster Mitigation: Kyoto, Japan - Gaming Simulation, Risk Assessment and communication ...	2014年3月	1 International Seminar on Urban Gaming Simulation Theory & Practice, Sassari University, Alghero, Italy, URRGES (Urban Risk Resilience Gaming Experience Simulation)	
19	KANEGA E Hidehiko	Gaming simulation and problem-based learning under pressure of climate changes and disaster century, a new fusion learning ways toward virtual players and actors in reality	2014年3月	ThaiSim 2014, 6th International ThaiSim Conference, 31 March - 1 April, 2014 (Mon - Tue), Southeast Bangkok College, Bangna, Bangkok, Thailand	
20	鈴木祥之	大震災と伝統構法木造建築物の耐震	2013年1月	自然災害科学105、Vol.32、No.1、日本自然災害学会 pp.1-2.	
21	鈴木祥之	講演「伝統構法を未来につなぐ」	2013年 3月22日	嶋臺塾 麓の波をおよぐ 嶋臺	
22	鈴木祥之	壁土の凍結融解に関する基礎実験 その1 古土	2013年5月	日本建築学会北陸支部研究報告集、第56号 pp.3-4.	浦 憲親、後藤正美
23	鈴木祥之	壁土の改良に関する基礎実験 その1 基本的性質	2013年5月	日本建築学会北陸支部研究報告集、第56号 pp.5-6.	浦 憲親、後藤正美
24	鈴木祥之	記念講演会「伝統構法木造建築物の耐震性能と設計の考え方」	2013年 5月10日	一般社団法人日本建築構造技術者協会九州支部総会、タカクラホテル福岡	
25	鈴木祥之	講演「伝統構法木造建築物を地震に備え、未来につなぐ」	2013年 5月15日	一般社団法人三重県測量設計業協会平成25年度第1回技術セミナー「地震、豪雨災害に備える」、三重県総合文化センター 三重県文化会館	
26	鈴木祥之	記念講演会「これからの伝統木造建築物の設計法」	2013年 5月31日	愛知建築地震災害軽減システム研究協議会、平成25年度記念講演会、KKRホテル名古屋3階芙蓉	
27	鈴木祥之	講演「伝統的構法の設計法～性能検証実験を経て」	2013年 6月8日	三重県建築士会みえ木造塾、三重県松阪市ウッドピア内「木の情報館」	
28	鈴木祥之	伝統的構法による木造架構の床構面剛性を考慮した偏心補正	2013年6月15日-16日	平成25年度(2013年度)日本建築学会近畿支部研究発表会、大阪工業技術専門学校	長瀬正、齋藤幸雄
29	鈴木祥之	土壁の性質に関する基礎実験 その1 地域産土の基本的性質	2013年8月30日-9月1日	2013年日本建築学会大会学術講演梗概集、北海道大学札幌キャンパス A-1 分冊、pp.883-884	山本智大・浦憲親・後藤正美

30	鈴木祥之	壁土材料の簡易試験法に関する検討	2013年8月30日-9月1日	2013年日本建築学会大会学術講演梗概集、北海道大学札幌キャンパス A-1分冊、pp.891-892	山田耕司・小林正
31	鈴木祥之	伝統的構法木造床版の面内せん断耐力特性について	2013年8月30日-9月1日	2013年日本建築学会大会学術講演梗概集、北海道大学札幌キャンパス C-1分冊、pp.151-152	常平真哉・鎌田輝男
32	鈴木祥之	土塗り壁の復元力特性への壁高さの影響 その1 土台仕様試験体	2013年8月30日-9月1日	2013年日本建築学会大会学術講演梗概集、北海道大学札幌キャンパス、C-1分冊、pp.453-454	中治弘行・後藤正美・河原大
33	鈴木祥之	土塗り壁の復元力特性への壁高さの影響 その2 足固め仕様試験体	2013年8月30日-9月1日	2013年日本建築学会大会学術講演梗概集、北海道大学札幌キャンパス、C-1分冊、pp.455-456	河原大・中治弘行・後藤正美
34	鈴木祥之	板壁に漆喰を塗った真壁工法および仕口金物工法による鉛直構面耐震要素の面内せん断実験 その1 試験体の概要	2013年8月30日-9月1日	2013年日本建築学会大会学術講演梗概集、北海道大学札幌キャンパス、C-1分冊、pp.469-470	中尾裕典・完山利行・丸山純夫
35	鈴木祥之	板壁に漆喰を塗った真壁工法および仕口金物工法による鉛直構面耐震要素の面内せん断実験 その2 面内せん断実験結果	2013年8月30日-9月1日	2013年日本建築学会大会学術講演梗概集、北海道大学札幌キャンパス、C-1分冊、pp.471-472	完山利行・中尾裕典・丸山純夫
36	鈴木祥之	伝統的構法を用いた木構造の柱脚滑りを考慮した限界耐力計算	2013年8月30日-9月1日	2013年日本建築学会大会学術講演梗概集、北海道大学札幌キャンパス、C-1分冊、pp.501-502	長瀬正（竹中工務店）・齋藤幸雄
37	鈴木祥之	伝統的構法の実大振動台実験 その1 2012年実験の目的と試験体概要	2013年8月30日-9月1日	2013年日本建築学会大会学術講演梗概集、北海道大学札幌キャンパス、C-1分冊、pp.553-554	齋藤幸雄・後藤正美・麓和善・大江忍
38	鈴木祥之	講演「伝統的構法の設計・耐震補強の考え方」	2013年9月14日、	(公社)愛知建築士会木塾委員会、豊橋市民文化会館	
39	鈴木祥之	板壁を有する伝統木造軸組架構の耐震性能および長押補強効果の実験的検証	2013年11月11日-12日	日本地震工学会第10回年次大会梗概集、東京・国立オリンピック記念青少年総合センターpp.259-260.	瀧野敦夫、宮本裕司、田代靖彦
40	鈴木祥之	伝統的構法の実大振動実験に基づく耐震性能評価	2013年11月14日	2013年度木材学会中部支部大会 富山国際会議場 講演番号 206	清水秀丸
41	鈴木祥之	講演「伝統的構法の構造力学的課題と設計法」	2013年11月15日	第56回構造力学コロキウム「木質構造の最新の研究と実施設計例」、日本建築学会近畿支部構造力学部会、大阪市立大学 梅田サテライト 大講義室 101号室 (大阪駅前第2ビル6階)	
42	鈴木祥之	講演「伝統構法の設計法における課題」	2013年11月16日	社団法人日本建築構造技術者協会中部支部北陸部会、石川県文教会館	
43	鈴木祥之	講演「伝統構法を未来につなぐための設計法と補強法」	2013年11月26日	京都府建築工業協同組合・京都商工会議所、第2回設計施工ワーク研修会、ハートピア京都（京都府立総合社会福祉会館）3階 大会議室	
44	鈴木祥之	壁土の水合せについて	2013年12月14日	平成25年度第56回日本大学工学部学術研究報告会講演要旨集、日本大学工学部 pp.66-69	浦憲親
45	鈴木祥之	講演「伝統木造建築物の耐震性―実大振動台実験による検証―」	2014年1月24日	防災フロンティア研究センター 第5回防災情報シンポジウム、京都タワーホテル	
46	Toyoda Yusuke	Creating a Community Warehouse for Disaster Preparedness as a Local Common	2013年6月	The 14th Global Conference of the International Association for the Study of the Commons (IASC 2013)	Kanegae Hidehiko
47	Toyoda Yusuke	Comparative Study on Disaster Preparedness and Awareness among Districts with Groups of Traditional Buildings in Japan and the Republic of Korea	2013年9月	32nd Academic Meeting of Japan Society for Natural Disaster Science	Cui Qinglin, Jungyou Park and Taniguchi Hitoshi
48	豊田祐輔	コンパクトシティ政策導入が与える大学・地域間防災連携への影響に関する研究	2013年10月	日本地域学会第50回年次大会	

49	Toyoda Yusuke	Resilience, Disaster Mitigation and Adaptation for Community Succession in Historic Cities	2013年11月	International Conference on Cultural Heritage and Disaster Risk Reduction	Kanegae Hidehiko
50	豊田祐輔	コミュニティ防災へのアクション・リサーチにおけるシミュレーション&ゲーミング	2013年12月	日本シミュレーション&ゲーミング学会全国大会 2013年秋	
51	大矢綾香	SPH法に基づくサイゴン川河岸崩壊現象の数値シミュレーション	2013年9月	建設コンサルタンツ協会近畿支部研究発表会	
52	R. FUKAGAWA	Reservoir Regulation and some related problems in Red river system	2014年3月	The 4th Vietnam/Japan Joint Seminar on Geohazards and Environmental Issues	L. V. HOANG, C. T. NGUYEN
53	R. FUKAGAWA	Two dimensional experiments about collapse of soil columns and box-shape retaining wall system	2014年3月	The 4th Vietnam/Japan Joint Seminar on Geohazards and Environmental Issues	C. T. NGUYEN, H. H. BUI, L. V. HOANG
54	Yano, K.	Japanese Geodemographics based on the 2010 Population Census of Japan	2013年8月	IGU Kyoto Regional Conference 2013	Kirimura, T., Nakaya, T. and Satani, T.
55	Yano, K.	Open Social Atlas of the 2010 Population Census of Japan	2013年10月	the 15th Japan-Korea International Symposium of GIS	Satani, T., Nakaya, T., Singleton, A. and Brunson, C.
56	矢野桂司	福島県相馬市の復興まちづくりに対するGeodesign手法の適用	2013年5月	第9回GISコミュニティフォーラムマップギャラリー	花岡和聖、磯田弦、桐村喬、中谷友樹、瀬戸寿一
57	Keiji Yano	Classifying the Japanese in London using Geodemographics	2013年8月5~9日	IGU Kyoto Regional Conference 2013	
58	矢野桂司	デジタル人文学の最前線：バーチャル京都	2013年9月23日	京阪神地区難関大学フェスティバル2013、梅田スカイビルタワーウエスト(大阪市)	
59	矢野桂司	バーチャル京都とGISによる景観シミュレーション	2013年10月5日	京都建築スクール勉強会、キャンパスプラザ京都(京都市)	
60	矢野桂司	2010年国勢調査小地域統計のオープン・アトラスの作成・公開	2013年10月26~27日	第22回学術研究発表大会、地理情報システム学会、慶応義塾大学三田キャンパス	佐谷岳穂・中谷友樹・Alex Singleton・Christopher Brunson
61	Keiji Yano	Geodesign Framework for Restoration Planning in Soma City, Fukushima Prefecture	2013年10月28~29日	2013 Geodesign International Conference: Maximizing Beneficial Impact Pekin University, China (国際会議)	
62	Keiji Yano	Geodesign Framework for Restoration Planning in the wake of the Great East Japan Earthquake	2013年10月30~31日	2013 KAGIS Fall Conference and the 15th Korean & Japan International Symposium on GIS, Ramada Plaza Hotel, Korea (国際会議)	
63	矢野桂司	ジオデモグラフィクスの新展開	2013年11月14日	G空間EXPO2013、「マーケティングGISの最前線：ジオデモグラフィクス2010」、日本科学未来館(東京都江東区)	
64	矢野桂司	バーチャル京都で京都の過去、現在、未来をみる	2013年11月21日	Rits不動産ネットワーク・同志社合同例会、京都タワーホテル(京都市)招待講演・招待発表	
65	Keiji Yano	Revival of a traditional Japanese festival: virtual ato-matsuri across time and space	2013年9月	The International Conference on Culture and Computing 2013, Kyoto, Japan, 2013 pp210-211 (Best Paper Award of the Digital Humanities Special Track)	Liang Li, Woong Choi, Mana Umeda, Kozaburo Hachimura and Hiromi Tanaka
66	Keiji Yano	Revival of a traditional Japanese festival: virtual ato-matsuri across time and space	2013年9月	The International Conference on Culture and Computing 2013, Kyoto, Japan, 2013	Toshikazu Seto, Takanori Hashimoto, Kenich Sumiyoshi and Dai Kawahara
67	片平博文	「大火の復原と検証ー鴨川を越えた建長の火災ー」	2013年12月	第1回京都歴史災害研究会(歴史都市防災研究所 第3回公開セミナー)	
68	川合誠	Androidプラットフォーム上でのネットワークコーデ	2013年5月	情報処理学会第155回DSP・第66回MBL合同研究発表会	林直秀、野口拓

		イングを用いたアドホックブロードキャスト			
69	川合誠	アドホックネットワークにおけるインターネット接続のための経路選択方式の提案	2014年3月	2014年電子情報通信学会総大会	鈴木哲也、野口拓
70	高橋 学	災害発生のメカニズム	2013年4月	名古屋市守山区サイエンスプラザ	
71	高橋 学	環太平洋地域の災害史	2013年5月	立命館大学環太平洋文明研究センターシンポジウム	
72	高橋 学	未来を語る環境考古学	2013年7月	広島市青少年センター	
73	高橋 学	古環境から社会の安全性を考えるーバルデビアの場合ー(スペイン語通訳)	2013年10月	チリ環境省ロスリオス州	
74	高橋 学	古環境から社会の安全性を考えるーアントファガスタの場合ー	2013年10月	チリ環境省アントファガスタ	
75	高橋 学	古環境から社会の安全性を考えるーバルパライソの場合ー	2013年10月	チリ環境省バルパライソ	
76	塚口博司	歴史都市における減災計画のための道路ネットワークの脆弱性把握方法に関する研究	2013年7月	第7回歴史都市防災シンポジウム	安隆浩, 久下紗緒里, 小川圭一
77	Hiroshi Tsukaguchi	STUDY OF SIGN SYSTEM IMPROVEMENT IN A HISTORICAL PARK BASED ON BEFORE AND AFTER COMPARISONS	2013年7月	Proceedings of the world conference on transport research	Upali Vandebona, and Hayato Mukai
78	向坊恭介	高山市域における木造建物の構造特性と実態に関する調査研究 その1 調査の概要	2013年8月	2013年日本建築学会大会学術講演梗概集、北海道大学札幌キャンパス、C-1分冊、pp.531-532	後藤正美・塚畑大樹・鈴木智華・須田達・鈴木祥之
79	向坊恭介	高山市域における木造建物の構造特性と実態に関する調査研究 その2 悉皆調査	2013年8月	2013年日本建築学会大会学術講演梗概集、北海道大学札幌キャンパス、C-1分冊、pp.533-534	鈴木智華・後藤正美・塚畑大樹・須田達・鈴木祥之
80	向坊恭介	高山市域における木造建物の構造特性と実態に関する調査研究 その3 伝統木造建物の構造的特徴	2013年8月	2013年日本建築学会大会学術講演梗概集、北海道大学札幌キャンパス、C-1分冊、pp.535-536.	塚畑大樹(設計室オール)・後藤正美・鈴木智華・須田達・鈴木祥之
81	向坊恭介	伝統的構法の実大振動台実験 その2 実大試験体 No.5、No.6	2013年8月	2013年日本建築学会大会学術講演梗概集、北海道大学札幌キャンパス C-1分冊、pp.555-556.	清水秀丸・中川貴文・須田達・後藤正美・齋藤幸雄・鈴木祥之
82	向坊恭介	丹後加悦重伝伝地区における防火意匠の現状調査(その1)	2013年8月	2013年日本建築学会大会学術講演梗概集	平尾和洋, 中辻浩介, 金子佳弘
83	向坊恭介	丹後加悦重伝伝地区における防火意匠の現状調査(その2)	2013年8月	2013年日本建築学会大会学術講演梗概集	平尾和洋, 中辻浩介, 金子佳弘
84	向坊恭介	丹後加悦重伝伝地区における防火意匠の現状調査(その3)	2013年8月	2013年日本建築学会大会学術講演梗概集	中辻浩介, 平尾和洋, 金子佳弘
85	向坊恭介	丹後加悦重伝伝地区における防火意匠の現状調査(その4)	2013年8月	2013年日本建築学会大会学術講演梗概集	金子佳弘, 中辻浩介, 平尾和洋
86	向坊恭介	石場建て構法における柱脚部の浮き上がりに関する実験的考察	2013年8月	2013年日本建築学会大会学術講演梗概集	須田達, 山田 耕二
87	向坊恭介	伝統的構法の各種楔をもつ仕口の実験的研究(その6 楔の打ち込み特性と支圧力)	2013年11月	日本地震工学会・大会ー2013	大岡優・棚橋秀光・伊津野和行・鈴木祥之
88	山内寛紀	オブジェクトベースの動画超解像と映像圧縮	2013年9月	STARC ワークショップ 2013 予稿	泉知論
89	山内寛紀	マンモグラムによる乳癌の自動診断技術	2013年10月	IEEE Computer Society Kansai Chapter 第2回技術講演会	
90	吉富信太	伝統木造建築物の全体架構モデルに関する研究	2013年7月	第7回歴史都市防災シンポジウム	
91	Minsuk Kim	Web-based Map and Digital Archiving for Korean Historic Building Photo Images taken by	2013年10月	KAGIS Fall Conference 2013 The 15th KOREA & JAPAN International Symposium on GIS, pp270-273 RAMADA PLAZA JEJU HOTEL	Haruto Murakami, Toshikazu Seto, Keiji Yano, Yukihiro Fukushima and Makoto Dobashi

		Dr. Yutaka Kondo during the 1930s and 1940s		(Jeju, Korea)	
92	金玖淑	日帝強占期における近藤豊撮影韓国写真資料に関する基礎研究 (An Initial Study on the Korean Historic Building Photo Images taken by Dr.Yutaka Kondo in Japanese Colonial Era)	2013年11月	韓国建築歴史学会、漢陽大学校 (ソウルキャンパス)	村上晴澄・瀬戸寿一・矢野桂司・福島幸宏・土橋誠
93	金玖淑	文化財の防災取り組みに関する調査研究-文化財の防御システムの実態について-	2013年5月	地域安全学会 第32回研究発表会 (春季)	崔青林、朴ジョンヨン、谷口仁士
94	金玖淑	安東河回村の火災安全性に関する調査研究	2013年5月	韓国建築歴史学会 2013年春季学術発表大会	
95	金玖淑	文化財所有者を対象とした人災・獣害の現状と防御システムに関する調査研究	2013年7月	第7回歴史都市防災シンポジウム	朴ジョンヨン
96	金玖淑	金山寺本堂の火災について	2013年7月	第7回歴史都市防災シンポジウム	谷口仁士
97	金玖淑	韓国の文化財保存史研究における『清交』の評価	2013年8月	2013年度日本建築学会大会 (北海道)	
98	金玖淑	Web-based Map and Digital Archiving for Korean Historic Building Photo Images taken by Dr. Yutaka Kondo during the 1930s and 1940s	2013年10月	The 15th KOREA & JAPAN International Symposium on GIS	
99	金玖淑	文化財アーカイブ構築と活用	2013年11月	立命館大学 2013年度第18回ライスパールセミナー	
100	金玖淑	日帝強占期における近藤豊撮影韓国写真資料に関する基礎研究	2013年11月	韓国建築歴史学会 2013年秋季学術発表大会	
101	崔青林	文化財の防災取り組みに関する調査研究-人災・獣害の実態について-	2013年5月	地域安全学会 第32回研究発表会 (春季)	朴ジョンヨン、金玖淑、谷口仁士
102	崔青林	防災意識の地域間比較に関する分析-重要伝統的建造物群保存地区における防災意識の地域特性 (その4)	2013年9月	第32回日本自然災害学会学術講演会	豊田祐輔、朴ジョンヨン、谷口仁士*
103	崔青林	防災意識の地域間比較に関する分析-重要伝統的建造物群保存地区における防災意識の地域特性(その4)-	2013年9月	第32回日本自然災害学会学術講演会	豊田祐輔、朴ジョンヨン、谷口仁士
104	朴ジョンヨン	文化財の防災取り組みに関する調査研究-所有者による文化財の価値評価について-	2013年5月	地域安全学会 第32回研究発表会 (春季)	崔青林、金玖淑、谷口仁士
105	石田優子	平成23年度台風12号による熊野那智大社土砂災害の実態調査	2013年7月	地盤工学会研究発表会	藤本将光・梅本啓介・里深好文・深川良一
106	Y. ISHIDA,	The effect of weathered bedrock strength on a large landslide triggered by Typhoon Talas in central Japan	2014年3月	The 4th Vietnam/Japan Joint Seminar on Geohazards and Environmental Issues	M. FUJIMOTO, K. KOSUGI, Y. SATOFUKA and R. FUKAGAWA
107	Y. ISHIDA	Influence of endogenous and exogenous factors on slope failure triggered by Typhoon Talas in Japan	2014年3月	The 4th Vietnam/Japan Joint Seminar on Geohazards and Environmental Issues	M. FUJIMOTO and R. FUKAGAWA
108	大岡優	伝統的構法の古材・新材の仕口接合部の比較実験	2013年7月	第7回歴史都市防災シンポジウム	棚橋秀光・山崎真理子・佐々木康寿
109	大岡優	伝統的構法の各種楔をもつ仕口の実験的研究 (その3 復元力特性と楔の効果)	2013年8月	2013年日本建築学会大会学術講演梗概集	棚橋秀光・伊津野和行・鈴木祥之
110	大岡優	伝統的構法の各種楔をもつ仕口の実験的研究(その5 楔つき仕口のめり込み実験)	2013年11月	日本地震工学会・大会-2013	向坊恭介・棚橋秀光・伊津野和行・鈴木祥之

111	Yonejima, M.	Effects of land use pattern on spatial distribution of host-seeking mosquitoes within urban areas in Kyoto, Japan	2013年8月	IGU Kyoto Regional Conference	Nakaya, T., Nihei, N., Tsuda, Y., Kobayashi, M., Watanabe, M. and Maeda, A.
112	Tanibata, G.	Effects of the safety and security map making workshop on the environmental interventions	2013年8月	IGU Kyoto Regional Conference	Muranaka, A., Yonejima, M., Yuasa, H., Seto, T. and Nakaya, T.
113	谷端郷	地域の防災・安全活動における安全安心マップ作成のワークショップの可能性ー環境介入に着目してー	2013年11月	第25回立命館地理学会大会	村中亮夫・米島万有子・湯浅弘樹・瀬戸寿一・中谷友樹
114	金 度源	歴史的な消防水道管「本願寺水道」管路の診断ー管内検査による管更生の検討ー	2013年7月	第7回歴史都市防災シンポジウム	大窪健之
115	檀上徹	実斜面における地盤内の感激空気の計測	2013年7月	地盤工学会研究発表会	酒匂一成・藤本将光・深川良一
116	檀上徹	ソフトとハード融合技術による新たな斜面モニタリング技術の実験的研究	2013年7月	地盤工学会研究発表会	岩佐直人/江守良介・深川良一・酒匂一成・酒井直樹
117	T. DANJO	Validation of effect on installing the nailing sensor	2014年3月	The 4th Vietnam/Japan Joint Seminar on Geohazards and Environmental Issues	Y. MIYAJIMA, K. SAKO, M. FUJIMOTO, R. FUKAGAWA, N. IWASA and N. SAKAI
118	平岡伸隆	原位置飽和地盤における超音波を用いた簡易透水試験法の提案	2013年9月	H25年度土木学会全国大会第68回年次学術講演会	黒原雄大・原沙綾・田中克彦・藤本将光・深川良一・外狩麻子
119	N. Hiraoka	Dynamic Analysis of Large Deformation of Geomaterials Using the Mesh-free SPH Method	2013年11月	Third International Conference on Geotechnique, Construction Materials and Environment	A. Oya, Ha H. Bui, R. Fukagawa
120	黒原雄大	超音波を用いた原位置透水試験法の検討	2013年11月	電子情報通信学会技術研究報告	平岡伸隆・中野峻也・田中克彦・藤本将光・深川良一
121	N. Hiraoka	Numerical Prediction of the Post Failure Behavior of Box Shape Retaining Wall System	2013年11月	Third International Conference on Geotechnique, Construction Materials and Environment	C. T. Nguyen, Ha H. Bui, A. Oya, R. Fukagawa
122	N. HIRAOKA	Fundamental study on monitoring of soil moisture and groundwater level using ultrasonic waves	2014年3月	The 4th Vietnam/Japan Joint Seminar on Geohazards and Environmental Issues	T. KUROHARA, S. NAKANO, K. TANAKA, M. FUJIMOTO and R. FUKAGAWA
123	Nyein Aye Maung Maung	An Improved Hybrid Localization Scheme for Wireless Ad Hoc and Sensor Networks	2013年9月	24th Annual IEEE International Symposium on Personal, Indoor and Mobile Radio Communications	Makoto Kawai
124	Nyein Aye Maung Maung	Experimental Evaluation of DV-HOP Localization Algorithm	2013年9月	2013年電子情報通信学会ソサイエティ大会	Makoto Kawai
125	Nyein Aye Maung Maung	RSS-based Optimized DV-HOP Localization Scheme for Wireless Ad-hoc Networks	2013年12月	The Fourth International Conference on Science and Engineering	Makoto Kawai
126	A.OYA	Geotechnical characteristics of sites along the Saigon River, south Vietnam	2014年3月	The 4th Vietnam/Japan Joint Seminar on Geohazards and Environmental Issues	N. HIRAOKA, R. OKUMOTO, M. FUJIMOTO and R. FUKAGAWA
127	大矢綾香	サイゴン川河岸の水位変動と斜面の安定性に関する研究	2013年5月	H25年度土木学会関西支部年次学術講演会	Bui Hong Ha・平野竜五・平岡伸隆・藤本将光・深川良一
128	大矢綾香	サイゴン川における水位変動を考慮した河岸斜面の安定解析に関する研究	2013年9月	H25年度土木学会全国大会第68回年次学術講演会	平岡伸隆・Bui Hong Ha・藤本将光・深川良一
129	木村亘	重要文化財後背斜面における地盤特性および地盤内水分変動関係に関する考察	2013年9月	平成25年砂防学会研究発表会	藤本将光・檀上徹・深川良一

130	田邊友章	箱型擁壁の静的安定性に関するモデル実験および数値解析結果の皮革	2013年5月	H25 年度土木学会関西支部年次学術講演会	鳥居文也・平岡伸隆・Bui Hong Ha・酒匂一成・深川良一
131	馬場直輝	風化花崗岩山地におけるトレーサー試験を用いた基岩内地下水流動の把握に関する研究	2013年5月	H25 年度土木学会関西支部年次学術講演会	藤本将光, 深川良一, 小杉賢一朗
132	宮島佳之	アンカー工に用いられる支圧板周囲の降雨時侵食現象に関する実験的考察	2013年5月	H25 年度土木学会関西支部年次学術講演会	檀上徹・深川良一・藤本将光・岩佐直人
133	湯浅 卓	東日本大震災における地域組織を介した在宅被災者への食料支援実態に関する研究～宮城県東松島市を対象として～	2013年8月	日本都市計画学会関西支部第11回研究発表会	大窪健之
134	Norifumi Murata	Human detection using histograms of oriented gradient with background subtraction based on mixture-of-Gaussians for human behavior recognition	2014年2月	2014 RISP International Workshop on Nonlinear Circuits, Communications and Signal Processing	Yohei Fukumizu, Tomonori Izumi, Hironori Yamauchi
135	岸祐介	歴史的レンガ建造物の剥離およびせん断強度に関する実験的検討	2013年11月	第10回複合・合成構造シンポジウム	北原武嗣・野阪克義・伊津野和行
136	Kazumasa Hanaoka	Comparisons of spatial microsimulation approaches for estimating person-trips at small area level	2013年8月	IGU Kyoto Regional Conference 2013	Keiji Yano
137	Kazuto Aoki	Historical changes in land price formation factors over 100 years in Kyoto, Japan: comparison of the land price distributions in 1910s and 2010s in a GIS environment	2013年8月	IGU Kyoto Regional Conference 2013	Koji Takeda, Daigo Ito, Keiji Yano, Tomoki Nakaya and Manabu Inoue
138	棚橋秀光	伝統的構法の各種楔をもつ仕口の実験的研究(その4 楔をもつ仕口のメカニズムと定式化)	2013年8月	2013年日本建築学会大会学術講演梗概集	大岡優・伊津野和行・鈴木祥之
139	棚橋秀光	伝統的構法の各種楔をもつ仕口の実験的研究(その7 楔つき仕口のめり込み力学モデル)	2013年11月	日本地震工学会・大会-2013	大岡優・向坊恭介・伊津野和行・鈴木祥之
140	棚橋秀光	古建築仕口接合部の復元力特性 その1 加力試験	2013年8月	2013年日本建築学会大会学術講演梗概集	佐々木康寿・小川敬多・山崎真理子・大岡優・鈴木祥之
141	棚橋秀光	古建築仕口接合部の復元力特性 その2 理論的推定	2013年8月	2013年日本建築学会大会学術講演梗概集	小川敬多・佐々木康寿・山崎真理子・大岡優・鈴木祥之

4. 主催したシンポジウム・研究会等					
No.	発表会議名	開催場所	発表年月	来場者数	共催機関名
1	第7回歴史都市防災シンポジウム	衣笠キャンパス	2013年7月	163名	
2	アライグマシンポジウム in 京都	衣笠キャンパス	2014年1月	28名	
3	立命館大学ユネスコ・チェア「文化遺産と危機管理」国際研修2013	衣笠キャンパス、清水寺、仁和寺、産寧坂、南三陸、神戸	歴史都市防災研究所 清水寺 仁和寺 産寧坂 南三陸 神戸	60名	
4	ジオデザイン・シンポジウム	東京大学駒場リサーチキャンパス	2014年2月		
5	第7回地域の安全安心マップコンテスト	衣笠キャンパス	2013年8月～12月	160名	協賛：NTT 西日本京都支店、(株)パスコ、日本ミクニヤ(株)、F レンタリース(株) 後援：国土地理院、京都新聞社、KBS 京都、京都市、公益財団法人京都市景観・まちづくりセンター、(株)白石バイオマス、コクヨマーケティング(株)、人文地理学会、立命館地理学会、NPO 災害から文化財を守る会

6	第1回公開セミナー 「いま、あなたの文化財が狙われている」	衣笠キャンパス	2013年8月	80名	共催：明日の京都 文化遺産プラットフォーム 後援：京都府、京都府教育委員会、京都市 協賛：神社仏閣防犯システム研究コンソーシアム
7	第2回公開セミナー 「進化する犯罪と防犯システムの最前線」	キャンパスプラザ 京都	2013年11月	60名	共催：明日の京都 文化遺産プラットフォーム 協賛：神社仏閣防犯システム研究コンソーシアム、 日本画像認識協会、IEEE Computer Society Kansai Chapter
8	第3回公開セミナー 「京都歴史災害研究会」	衣笠キャンパス	2013年12月	30名	
9	第1回定例研究会	びわこ・くさつキ ャンパス	2013年6月	20名	
10	第2回定例研究会				※第7回歴史都市防災シンポジウムとして開催
11	第3回定例研究会	びわこ・くさつキ ャンパス	2013年9月	20名	
12	第4回定例研究会	びわこ・くさつキ ャンパス	2013年10月	15名	
13	第5回定例研究会	びわこ・くさつキ ャンパス	2013年11月	15名	
14	第6回定例研究会	長江家住宅・袋屋	2013年12月	20名	
15	第7回定例研究会	キャンパスプラザ 京都	2014年3月	30名	
16	立命館大学・タマサート大学共同ワークシ ョップ	衣笠キャンパス	2014年3月		

5. その他研究活動（報道発表や講演会等）				
No.	氏名	研究業績名	発表場所等	研究期間
1	大窪健之	妙心寺防火・地域と一体	読売新聞（夕刊）	2013年5月9日
2	大窪健之	「堀川手づくりマイクロ発電水車プ ロジェクト」	京の七夕事業（京都市）	2013年8月3日～10日
3	大窪健之	「マイクロ発電水車の組み立ておよ び実験」	エコキッズ関連事業（若狭町）	2013年10月27日
4	大窪健之	「マイクロ発電水車の発電デモン ストレーション」	環境学習（京北第二小学校）	2013年12月9日
5	大窪健之	「歴史・文化を活かした防災まちづ くり」	大阪支社新年特集号2014（6面），日刊建設工業 新聞	2014年1月7日
6	大窪健之	防災特番 湖南4市長放談～地域防 災を考える～	えふえむ草津ラジオ番組出演（アドバイザー）	2014年1月17日
7	大窪健之	地域国際研修・講義（3）及び演習 （1）担当	Training Course on Disaster Risk Management of Cultural Heritage organized by GIDM in cooperation with RitsDMUCH, the Gujarat Institute of Disaster Management, Gandhinagar (India)	2014年2月17～21日
8	板谷直子	地域国際研修・講義（5）担当	Training Course on Disaster Risk Management of Cultural Heritage organized by GIDM in cooperation with RitsDMUCH, the Gujarat Institute of Disaster Management, Gandhinagar (India)	2014年2月17～21日
9	KANEGAE Hidehiko	Staff Enhancement Program Professional Human Resources Development Project (PHRDP) III National Development Planning Agency (Bappenas), Indonesia 2013	地域情報研究センター紀要「創地共望 Vol.3」	2013年3月
10	豊田祐輔	Community-based Disaster Mitigation and Management of Evacuation Shelter	“Training of Trainers (TOT) - Disaster Mitigation Program under Professional Human Resources Development Project III (PHRDP III) of Indonesia” Ritsumeikan University	2013年6月27日 ～2013年6月27日
11	豊田祐輔	Disaster profile of Kyoto and vulnerability of Kamishichiken	6th International Summer School: The Future of The Past 「Gaming Simulation on Disaster Mitigation for Urban Cultural Heritage」	2013年8月1日 ～2013年8月9日
12	豊田祐輔	Gaming Simulation for Community-based Disaster Reduction	10th ISAGA (International Association of Simulation & Gaming) summer school 「Gaming Simulation on Disaster Mitigation」	2013年8月5日 ～2013年8月9日

13	豊田祐輔	住民による住民のための防災を考える	茨木市『まちづくり寺子屋』茨木市役所、茨木市	2013年11月24日 ～2013年11月24日
----	------	-------------------	------------------------	-----------------------------

6. 受賞学術賞					
No.	氏名	授与機関名	受賞名	タイトル	受賞年月
1	大窪健之	一般社団法人 不動産協会	不動産協会賞	大窪健之(単著)『歴史に学ぶ 減災の知恵』, 学芸出版社	2013年
2	大窪健之	土木学会(土木計画学委員会)	公共政策デザインコンペ ティション、「北村賞」受 賞(計画指導)	「災害に強い風土に根ざした 歴史防災まちづくり」	2013年6月1日
3	大窪健之	京都市長	「自治記念日表彰:国際交 流による市政への貢献」	歴史都市防災研究室(大窪研究 室)	2013年10月15日
4	中谷友樹・ 矢野桂司	ESRI Japan	「第9回 GIS コミュニテ ィフォーラム」マップ・ギ ャラリーコンテスト1位		2013年5月
5	豊田祐輔	日本地域学会	田中啓一賞(博士論文賞)	人口流動期における都市部のコミ ュニティ避難計画に関する研究	2013年10月
6	豊田祐輔	日本シミュレーション&ゲーミング 学会(JASAG)	奨励賞		2013年12月

7. 科学研究費助成事業						
No.	氏名	研究課題	研究種目	開始年月	終了年月	役割
1	中谷友樹	地理的剥奪指標に基づく近隣健康格差の 分析	基盤研究(B)	2012年4月	2015年3月	代表
2	中谷友樹	地域環境と個人の健康決定要因の相互健 康影響解明のための社会疫学研究	基盤研究(C)	2011年4月	2014年3月	分担
3	中谷友樹	所得格差の要因と影響に関する地理学的 研究	基盤研究(B)	2012年4月	2015年3月	分担
4	板谷(牛谷) 直子	地域の文化遺産が被災後の復興に果たす 役割に関する研究	基盤研究(C)	2013年4月	2016年3月	代表
5	板谷(牛谷) 直子	世界遺産バッファゾーンの「文化遺産共生地 域」としての整備モデル構築のための研究	基盤研究(B)	2013年4月	2016年3月	分担
6	鐘ヶ江秀彦	逆都市化における頑強性を高めるコンパクト シティ政策シミュレーションに関する研究	基盤研究(B)	2011年4月	2014年3月	代表
7	塚口博司	歩行者交通文化概念に基づいた歩行者空 間計画手法に関する研究	基盤研究(C)	2011年4月	2014年3月	代表
8	豊田祐輔	災害対策に対する地域住民受容解の探索 を目指した意思決定手法の開発	研究活動スタート支援	2013年8月	2015年3月	代表
9	深川良一	ベトナム・サイゴン川河岸崩壊現象の解明 と対策工提案のための調査研究	基盤研究(B)	2011年4月	2014年3月	代表
10	矢野桂司	G I Sベースの日本版センサス地理学の 確立とその応用に関する研究	基盤研究(B)	2012年4月	2015年3月	代表
11	矢野桂司	近藤豊撮影写真資料	研究成果公開促進費	2013年4月	2014年3月	代表
12	矢野桂司	舞踊・演劇・祭礼等における複数人物によ る身体動作の記録・解析・表現(分担)	基盤研究(B)	2010年4月	2014年3月	分担
13	矢野桂司	人々のモビリティに着目した都市・地域の 時空間分析基盤の構築	基盤研究(B)	2011年11月	2014年3月	分担
14	矢野桂司	多様な主体による参加型 GIS の構築と応 用に関する研究	基盤研究(A)	2013年4月	2017年3月	分担
15	山内寛紀	防犯カメラ映像の映像改善と異同識別技 術革新により犯罪捜査を加速する研究	基盤研究(B)	2013年4月	2016年3月	代表
16	吉富信太	動的縮約モデルを用いた柔床・多構面モデ ルの非線形システム同定法	基盤研究(C)	2013年4月	2016年3月	代表
17	金玟淑	植民地期の韓国港湾都市における建築と 都市景観に関する研究	若手研究(B)	2013年4月	2016年3月	代表

8. 競争的資金等(科研費を除く)						
No.	氏名	研究課題	資金制度・研究費名	採択年月	終了年月	役割
1	豊田祐輔	観光地における避難準備に向けた大学・地域	二国間交流事業共同研究	2012年4月	2015年3月	分担

		連携による情報マネジメントモデルの開発				
2	深川良一	文化遺産を核とした観光都市を自然災害から守るための学術研究拠点	文部科学省・私立大学戦略的研究基盤形成支援事業	2010年4月	2015年3月	代表

9. 知的財産権								
No.	氏名	名称	出願人区分	発明人区分	出願番号	公開番号	登録(特許)番号	国
1	大窪健之	延焼火災モニタリングシステム			特願 2008-226387		特許第5230306号	日本
2	大窪健之	消火栓装置		共同発明者	特願 2013-082805			
3	大窪健之	延焼防止用散水ノズル及びこれを用いた街路壁面用散水システム		共同発明者	特願 2013-102662			
4	大窪健之	地域防災情報システム		共同発明者	特願 2014-005200			
5	大窪健之	地域防災情報システム・警報システム		共同発明者	特願 2014-005324			
6	深川良一	弾性体を利用した孔内載荷試験装置					特許第2571419号	

以上。